



# 1 必要な機器を確認しよう。

※イメージ図は実際の外観色と異なる場合があります。

au by KDDI Create it!

ひかりone

工事が完了したら、機器を接続しよう。

# 接続設定ガイド

サービスご利用期間中は、大切に保管してください。

- 「接続工事完了のお知らせ」がお客様のポストに届くまで、機器の接続をしないでください。
- 各機器の電源が入っていないと、ひかりone(インターネット・電話・TV)は使えません。

●お問い合わせ先●

同梱の「ひかりoneご利用ガイド」(冊子)をご確認ください。

タイプ V

2009年4月現在

資料番号 ひかり721-04

### KDDIからお届けするレンタル機器

#### VDSLモデム

●背面に穴が3つある機器です。

本体  
インラインフィルタ  
モジュラー分岐コネクタ

LANケーブル (RJ-45, ストレート, 1本 [グレー2m])  
電話ケーブル (RJ-11, 白色, 長 [2m] 1本, 短 [30cm] 1本)  
ACアダプター

#### ホームゲートウェイ

LANケーブル (RJ-45, ストレート, 1本 [緑印2m])  
電話ケーブル (RJ-11, 1本 [黄色2m])  
(その他同梱物)  
ご利用開始のご案内  
「ひかりoneご利用ガイド」(冊子)  
接続設定ガイド(本紙)

本体  
スタンド (1セット)

#### セットトップボックス (au BOX)

TVサービスをご契約の場合にお届けします。

本体  
リモコン (1個)

LANケーブル (RJ-45, ストレート, 1本 [5m])  
AVケーブル (1本)  
S映像コード (1本)  
オーディオ延長ケーブル (1本)

電源コード一式  
乾電池 (リモコン動作確認用)

### お客さまでご用意いただく機器

#### パソコン

ネットワークと接続するためのLANポートが必要です。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

LANポート (差込口)

#### 電話機

電話ケーブルは電話機を使用するのに必要です。いまお使いのケーブルがあれば、そのままご利用いただけます。

電話ケーブル (RJ-11)

#### テレビ

※各機器に同梱されているLANケーブルや電話ケーブルの長さが足りない場合は、お客さまの設置場所に最適な長さのケーブルを別途ご用意ください。

※機器は水平で安定した場所に設置してください。また、直射日光が当たる場所や電源または空調装置の近く、ホコリがたまっていたり汚れている場所には設置しないでください。

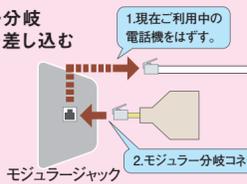
※VDSLモデム、ホームゲートウェイ等の室内機器は、環境に配慮して動作確認済みのリユース品をお届けする場合があります。

## 2 手順にそって、機器を接続しよう。

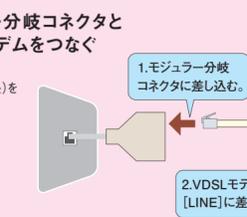
まず最初に、VDSLモデムを準備します。

VDSLモデム本体と、同梱されているモジュラー分岐コネクタ、電話ケーブル(白色、長 [2m])、ACアダプターを準備します。

### 1 モジュラー分岐コネクタを差し込む



### 2 モジュラー分岐コネクタとVDSLモデムをつなぐ



### 3 VDSLモデムにACアダプターをつなぎ、電源コンセントを差し込む

電源が入るとVDSLモデムの通信ランプが緑色点滅し、約1分程度で緑色点灯にかわるのをご確認ください。



### 通信ランプがずっと点滅、または消灯の場合

モジュラー分岐コネクタを、今まで使用していなかったモジュラージャックに差し込んで、通信ランプが緑色点灯するかをご確認ください。通信ランプが正常に緑色点灯したモジュラージャックがひかりoneが利用できる箇所です。



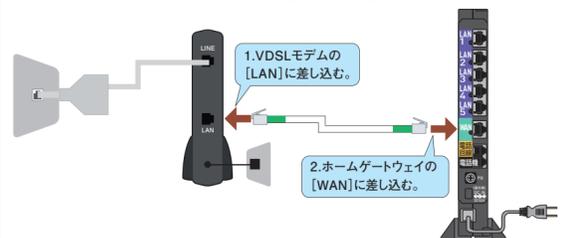
VDSLモデムの通信ランプが緑色点灯すれば、準備は完了です。  
手順①に進んでください。

## VDSLモデム、ホームゲートウェイの横置き、重ね置きは絶対にお避けください。

※VDSLモデム、ホームゲートウェイ、セットトップボックス (au BOX) の各機器とその電源は、密閉したり、機器の設置方法や使用方法を守らず使用されると、過熱の原因となり大変危険です。設置方法は、各機器の取扱説明書をご確認ください。

### 手順1 VDSLモデムにホームゲートウェイをつなぐ

LANケーブル(ホームゲートウェイ同梱:緑印)を使います。



ここからはお客さまのご契約内容によって手順が異なります。

#### ネットサービスのみご利用の場合

手順⑤から順にお進みください。

※NTT等の加入電話をひかりoneと併用する場合は、手順⑧の「NTT等の加入電話を使用する場合のつなぎかた」をご参照ください。

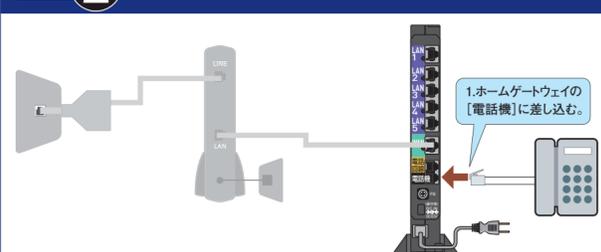
#### ネットサービスと電話サービスをご利用の場合

※電話サービスのみのご利用も含まれます。

手順②から順にお進みください。

※TVサービスもご利用の場合は、最後に手順⑦をご参照ください。

### 手順2 ホームゲートウェイに電話機をつなぐ



ここからは電話サービス申込時の内容によって手順が異なります。

いまと同じ電話番号を継続する(番号ポータビリティをする)場合

手順③から順にお進みください。

KDDIから発番する新しい電話番号を使う場合

電話サービスの接続は終了です。

手順⑤から順にお進みください。

### 手順3 モジュラー分岐コネクタとインラインフィルタをつなぐ

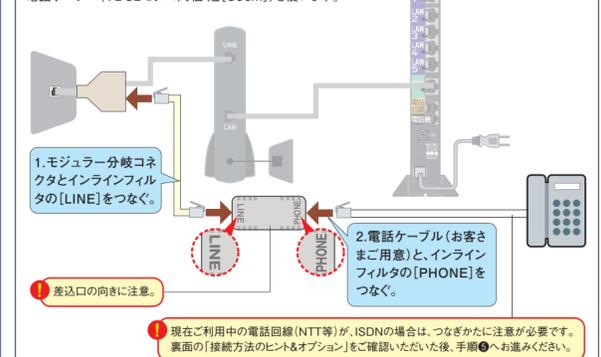
電話ケーブル(VDSLモデム同梱:短 [30cm])を使います。



#### NTT等の加入電話を使用する場合のつなぎかた

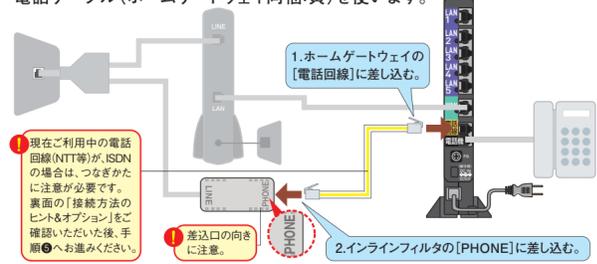
※NTT等の契約が必要です。

電話ケーブル(VDSLモデム同梱:短 [30cm])を使います。

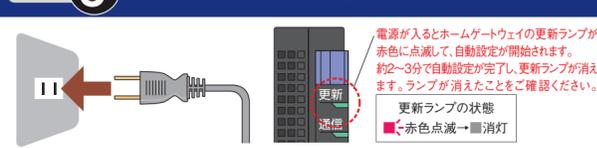


### 手順4 インラインフィルタとホームゲートウェイをつなぐ

電話ケーブル(ホームゲートウェイ同梱:黄)を使います。

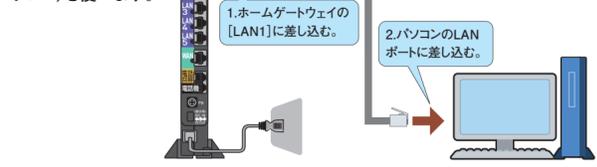


### 手順5 ホームゲートウェイの電源コンセントを差し込む



### 手順6 ホームゲートウェイにパソコンをつなぐ

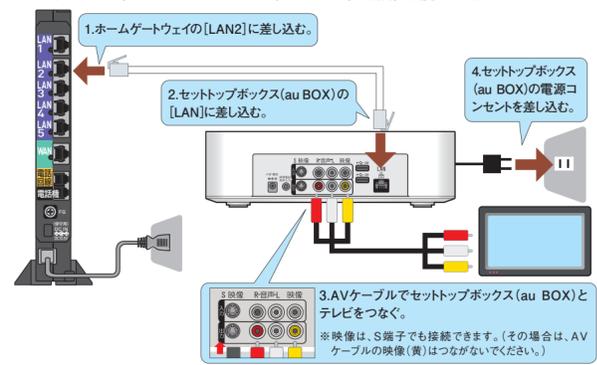
LANケーブル(VDSLモデム同梱:グレー)を使います。



ネットサービス、電話サービスをご利用の場合は、以上で必要な機器の接続は終了です。TVサービスをお申込のお客さまは、以下 手順⑦ にお進みください。

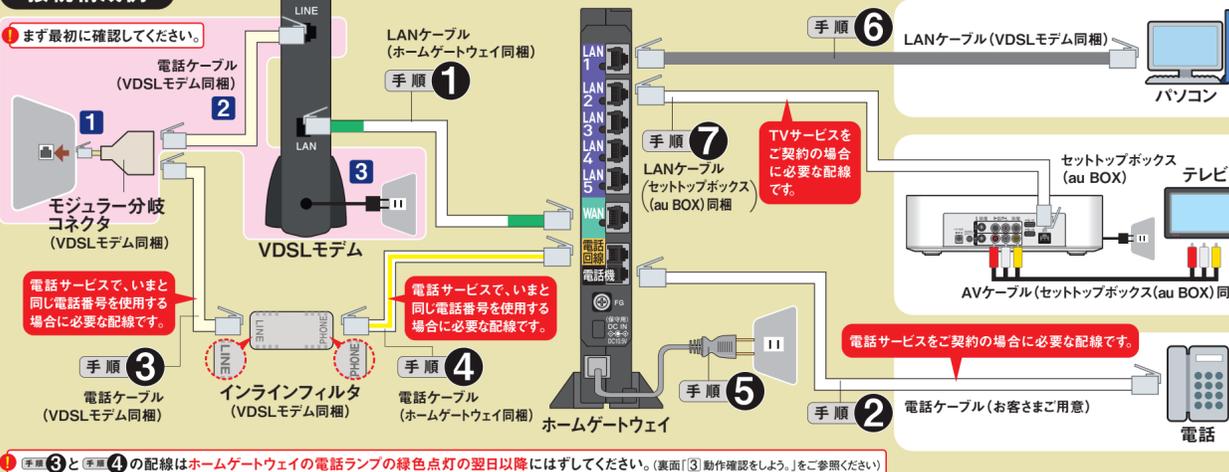
### 手順7 ホームゲートウェイにセットトップボックス (au BOX) をつなぐ

LANケーブル(セットトップボックス (au BOX) 同梱)を使います。



以上で、ひかりoneで必要な機器の接続は終了です。次は、裏面の「3 動作確認をしよう。」に進みましょう。

### 接続構成例



# 3 動作確認をしよう。

- ネットサービス**
- ホームゲートウェイのインターネットランプが緑色点灯していることをご確認ください。
  - パソコンでホームページを開きます。  
(例: <http://www.hikari-one.com/support/isp/>)

ホームページに接続できれば完了です。

- ホームページに接続できない場合は、以下の「ホームページに接続できない場合には」をご参照いただき、パソコンの設定をおこなってください。

- TVサービス**
- テレビの電源を入れて、テレビの画面表示を「ビデオ入力」に切り替えます。
  - セットトップボックス (au BOX) の電源ボタンを押します。<sup>\*1</sup>
  - テレビの画面表示にそって、リモコンで操作していきます。<sup>\*2</sup>
  - しばらくすると、メインメニュー画面が表示されます。

以上でTVサービスのご利用が可能です。

<sup>\*1</sup> テレビや出力端子に接続したスピーカーなどの音響機器の破損を防ぐため、電源コードを差し込む前にボリュームを最小にしてください。  
<sup>\*2</sup> 初めて起動するときは、バージョンアップがおこなわれることがあります。  
※ 正しく動作しない、画面の指示がわからない場合はセットトップボックス (au BOX) の取扱説明書をご確認ください。



- すべての機器の電源が入っていることを確認し、受話器を持ち上げてください。  
「ツーン」という音がしたら、正しく接続されています。電話サービスのご利用開始時期は、ご契約内容により異なります。

## いまと同じ電話番号を継続する(番号ポータビリティをする)お客さま

ひかりONE 電話サービスのご利用開始(番号ポータビリティの手続き完了)には、機器の接続から約1週間\*かかります。手続き完了後、ひかりONE 電話サービスが使えるようになったかを、「ホームゲートウェイのランプ表示」もしくは、「電話での開通確認テスト」でご確認ください。

\* 手続き完了までは、NTT等の従来加入先の回線を利用して電話をご利用いただけます。  
※ 自家の期間が経過しても、「ホームゲートウェイのランプ表示」もしくは「電話での開通確認テスト」で確認できない場合は、「ひかりONEご利用ガイド」(冊子)に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

## 新しい電話番号を使用するお客さま

ひかりONE 電話サービスが使えるようになったかを、「ホームゲートウェイのランプ表示」もしくは、「電話での開通確認テスト」でご確認ください。

以下のどちらかの方法でご確認ください。

### ホームゲートウェイのランプ表示でご確認する場合

ホームゲートウェイの電話ランプが消灯から緑色点灯に変わったら、ひかりONE 電話サービスがご利用いただけます。

- 上記確認の翌日以降に表面の接続構成例の手順①と②の配線ははずしてください。

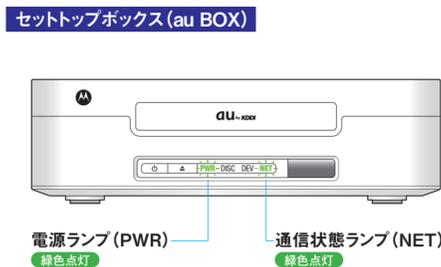
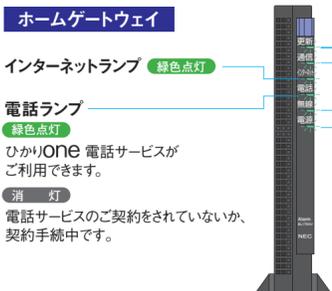
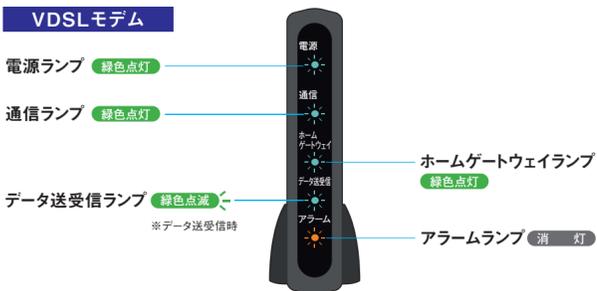
### 電話での開通確認テストでご確認する場合

「開通確認試験番号 0077-7156」へダイヤル  
完了アナウンス「接続試験は正常に終了いたしました。」  
ひかりONE 電話サービスがご利用いただけます。

- 従来加入先の電話サービスは、ひかりONE 電話サービスのご利用開始後、自動的に休止または解約されます。

## 正常に動作しているときのランプ表示です。

※イラストはイメージです。※詳しいランプ表示については、各機器の取扱説明書をご確認ください。



## ホームページに接続できない場合には

該当するパソコンのOSの手順にしたがって設定をおこなってください。

下記のOS以外をご利用の場合は、ホームゲートウェイ同梱の「ひかりONEご利用ガイド」(冊子)に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

### Windows Vista

- [スタート]-[コントロールパネル]を選びます。
- [ネットワークとインターネット]-[ネットワークと共有センター]をクリックし、タスク欄の「ネットワーク接続の管理」をクリックします。
- [ローカルエリア接続]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
- ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行]をクリックします。
- インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IP v4) を選択し、[プロパティ]をクリックします。
- [IPアドレスを自動的に取得する]と[DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する]をチェックします。
- [OK]をクリックします。
- [OK]または[閉じる]をクリックします。
- [ネットワーク接続の管理]画面を閉じ、[ネットワークと共有センター]画面にて、関連項目欄の「インターネットオプション」をクリックします。
- [接続]タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は[ダイヤルしない]を選びます。
- [OK]をクリックします。

### Windows XP

- [スタート]をクリックし、表示された画面の「コントロールパネル」を選びます。
- [ネットワークとインターネット接続]をクリックし、表示された画面の「ネットワーク接続」をクリックします。
- [ローカルエリア接続]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
- [全般]タブをクリックし、[インターネットプロトコル (TCP/IP)] をチェックして、[プロパティ] をクリックします。
- [IPアドレスを自動的に取得する]と[DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する]をチェックします。
- [OK]をクリックします。
- [OK]または[閉じる]をクリックします。
- [戻る]をクリックし、[ネットワークとインターネット接続]画面の「インターネットオプション」をクリックします。
- [接続]タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は[ダイヤルしない]を選びます。
- [OK]をクリックします。

### MacOS 8.x/9.x

- [アップルメニュー]->[コントロールパネル]と進み、[TCP/IP]を開きます。
- 表示された画面で、経由先に[Ethernet]を選びます。  
※ AirMacをご利用の場合は[AirMac]を選びます。
- 続いて[設定方法]で[DHCPサーバを参照]を選び、[DHCPクライアントID]と[検索ドメイン名]を空白にして、画面を閉じます。
- 確認画面が表示されたら[保存]をクリックします。

### MacOS X 10.1.x以降

- [アップルメニュー]または[Dock]から[システム環境設定]を選びます。
- 表示された[システム環境設定]画面にある[ネットワーク]をクリックします。
- [ネットワーク]画面が表示されたら、場所は[自動]、表示は[内蔵Ethernet]を選びます。
- [TCP/IP]タブを押し、[設定]で[DHCPサーバを参照]を選び、[DHCPクライアントID]、[ドメインネームサーバ]、[検索ドメイン名]を空白にして、[今すぐ適用]をクリックすると設定は完了です。

以上で設定は終了です。各サービスのご利用方法は、ホームゲートウェイ同梱の「ひかりONEご利用ガイド」(冊子)でご確認ください。

うまくいかない場合は、もう一度接続をご確認のうえ、「ひかりONEご利用ガイド」(冊子)に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

また、各機器の取扱説明書にあるトラブルシューティングでもご確認いただけます。

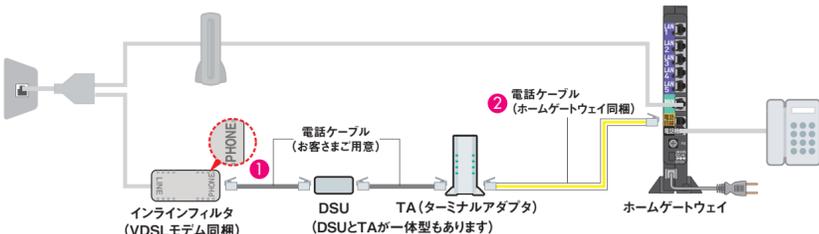
無線LAN、高速PLCモデム等の接続は、各機器に同梱のつなぎかたガイド・接続設定ガイドをご参照ください。※左記の各機器はレンタル利用いただけます。詳しくは、「ひかりONEご利用ガイド」(冊子)をご確認ください。

## 接続方法のヒント&オプション

### ISDN回線を使っている場合の配線について。

▶ いまと同じ電話番号を継続する場合(番号ポータビリティをする)

- ISDNでご利用中のDSU、TA(ターミナルアダプタ)の配線を、図のように接続します。



- インラインフィルタから、DSU、TA\*を接続します。\*DSUとTAが一体型の場合もあります。
- TAの電話ポートから、ホームゲートウェイの「電話回線」に接続します。

- ご利用のTAによっては、ホームゲートウェイとTAを接続したときに、ISDN回線がご利用いただけない場合があります。その場合は、番号ポータビリティが完了するまでの間、電話機をTAに接続してお使いください。

▶ ひかりONE電話は利用せず、ISDN回線をお使いになる場合

- インラインフィルタからDSU、TAを接続し、TAの電話ポートに電話機をつないでお使いいただけます。

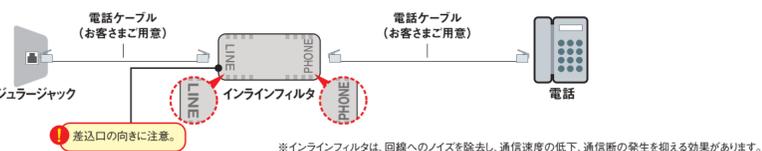
### 別の部屋で、いままでの加入電話(NTT等)を使いたい。

▶ 電話機は、VDSLモデムに同梱のインラインフィルタを使って接続します。

接続に必要な電話ケーブルは、お客さまをご用意ください。

インラインフィルタは、オプションでもご提供しています。(有料)

- モジュラージャックは[LIN]に、電話機は[PHONE]につながります。



- 差込口の向きに注意。

※インラインフィルタは、回線へのノイズを除去し、通信速度の低下、通信線の発生を抑える効果があります。

### ひかりONE電話を2回線使いたい。

▶ ホームゲートウェイ2台でのご利用となります。

(2契約目の申込で、2台目をKDDIからお送りします)

お客さまご用意のスイッチングHUB(ハブ)が必要です。

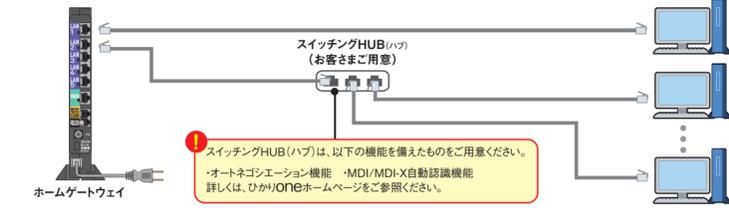


- スイッチングHUB(ハブ)は、以下の機能を備えたものをご用意ください。  
・オートネゴエーション機能  
・MDI/MDI-X自動認識機能  
詳しくは、ひかりONEホームページをご参照ください。

### パソコンを、複数台使いたい。

▶ 最大6台までのパソコンが同時に接続できます。

- LANポートが足りない場合は、お客さまご用意のパソコンをスイッチングHUB(ハブ)に接続します。



- スイッチングHUB(ハブ)は、以下の機能を備えたものをご用意ください。  
・オートネゴエーション機能  
・MDI/MDI-X自動認識機能  
詳しくは、ひかりONEホームページをご参照ください。

### 電話機能がついているインターホンをお使いの場合。

▶ インターホンから電話機能の切り離しが必要な場合があります。

電話機能付きインターホンがVDSLの電気信号を遮断し、ひかりONEがご利用できないことがあります。インターホン本体の、電話機能を切り離すための機能設定スイッチ\*等を「OFF」にして、VDSLモデムの通信ランプをご確認ください。\*詳細はインターホンの取扱説明書でご確認ください。\*マンション管理会社にご確認ください。